平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	河﨑　啓二			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	平成25年度に改定した人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画を見直すと共に、計画の実施を行う。
②①に基づく取組み結果	人材育成基本方針に基づき研修の目的を見直すとともに、平成27年度研修計画策定において3つの新たな研修を実施することとした。
③平成27年度に取組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、引き続き研修計画を見直すと共に、計画の実施を行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図（対象をどうするのか）	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている。
②事務事業の概要		人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		分権時代に至り、各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果

①平成27年度研修計画の策定
②階層別研修・実務研修の実施
③派遣研修・自主研修の実施（詳細は、別添のとおり）

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	職員数（二役、教育長を除く）	691	688	696	人	鎌ケ谷市職員配置録
ii	研修受講人数	821	1,064		人	鎌ケ谷市職員研修概要
iii	研修受講人数／職員数	119	155		%	業務取得

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	2,753	3,255			3,516
国支出金（千円）			1,613	研修負担金	
県支出金（千円）			681	講師派遣手数料	
市債その他（千円）			454	研修講師報償	
一般財源（千円）	2,753	3,255	133	職員派遣旅費	3,516

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画の実施が課題					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるために、より効果的な研修・能力開発を実施する必要があるため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H25からの繰越	
				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	市庁舎設備機器改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	谷口　光儀			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	電気設備及び監視システム改修工事を完了する	③平成27年度に取組む改革・改善内容	平成26年度で終了。
②①に基づく取組み結果	電気設備及び監視システム改修工事は完了した		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎（設備）	意図（対象をどうするのか）	市庁者の設備機器については、老朽化が進み不具合が生じていることから改修を行うものである。
②事務事業の概要	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施する			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施した

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	改修割合	0	7	93	%	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		8,380	103,226	金額（千円）	内容	0
	国支出金（千円）			103,226	改修工事	
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）	1,200	103,200			
	一般財源（千円）	7,180	26			

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を実施している。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	1終了
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	電気設備及び監視システムの改修工事は終了。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	改修工事の実施
②計画に対する事業実績	改修工事を実施した
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
117,785	117,686	当初	117,785	103,226	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0		現年分	103,226
		補正	0			
		流用・充当	−99			
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	柴田　康弘			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	教育行政の向上を図るため、教育委員会委員に的確な情報提供を行うとともに、小中学校での意見交換の機会を設ける。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設けていくほか、大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制を確立する。
②①に基づく取組み結果	公開研究会や各種学校行事に参加するほか、児童生徒の学習に取り組む現場を視察した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図（対象をどうするのか）	人格が高潔で、教育や学術、文化に関する認識のある者を任命する。
②事務事業の概要	毎月1回定例会を開催し、鎌ケ谷市の教育方針や教育行政にかかわる議決事項を審議し決定している。委員長が必要と認めたとき、または委員二人以上から会議に付議する案件を示して会議の招集の請求があったときには臨時会を開催する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	27年度は大幅な教育政策の変換期にあたることから、他市の動向を把握しながら、本市の新しい教育委員体制の確立が求められている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：生涯学習の推進や、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など教育行政に多様な民意を反映した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	定例会の回数	12	12	12	回	業務取得
ii	臨時会の回数	3	6	5	回	業務取得
iii	議決された案件	30	61	46	件	業務取得

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	2,327	2,436			2,458
国支出金（千円）	0	0	2,298	報酬	
県支出金（千円）	0	0			
市債その他（千円）	0	0			
一般財源（千円）	2,327	2,436			2,458

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：新教育委員制度への移行にあたり、他市の状況を情報共有していきたい。

②評価

i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		

③上記評価の理由：地方教育行政の組織及び運営に関する法律で設置が義務付けられており、廃止できない。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成28年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	石井　孝宜			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	目標達成のため、今後とも円滑な議会運営に努め、市民への周知を図るため効果的な事業展開を図っていく。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	議員改選に伴う一連事務を円滑に実施する。また、目的達成のため、今後とも円滑な議会運営に努め、市民への周知を図るため効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取組み結果	効果的に事業を実施することができた。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図（対象をどうするのか）	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、それを保障するための議会事務局の運営に関する経費。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	地方分権がより一層進む状況のなかで、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することが出来た。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	傍聴者数	477	483	528	人	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	20,910	23,126	金額（千円）	内容	30,937
国支出金（千円）			4,204	会議録反訳委託	
県支出金（千円）			2,854	映像設備・音響設備使用料	
市債その他（千円）			1,833	議会中継システム構築業務委託	
一般財源（千円）	20,910	23,126	1,150	議会だより折込委託	30,937

Ⅳ　評価・検討　］

①課題（目的に対する現状など）	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H25からの繰越	
				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額					